

しなののうた

咲き競ふ白薔薇よりも清らかなる病の友よ早く癒えよや



杉田小百合

しなののうた

偶然に寺の貫主の御数珠受け友と野に出て遊ぶを願ふ

杉田小百合



しなののうた

沙羅の花はらりはらりと目の前に落つる花
花艶やかなれり



杉田小百合

しなののうた

朝咲きて夕べに落つる沙羅の花己が見めぐり思ふひととき

杉田小百合



しなののうた

誰が家ぞ垣を回らず紫の藤に染まるや心華やぐ



杉田小百合